

第51回加西市公共交通活性化協議会 協議結果

■第51回加西市公共交通活性化協議会の開催状況

○開催日程

令和5年5月26日（金） 10:00～11:30

○開催場所

加西市民会館 2階 視聴覚室

○協議参加者

20名（委員18名 オブザーバー2名）

○傍聴者

0名

■協議結果

○協議事項1 「令和4年度事業報告及び収支決算について」

全会一致により承認

○協議事項2 「令和5年度事業計画及び収支予算（案）について」

全会一致により承認

○協議事項3 「地域公共交通計画認定申請について」

全会一致により承認

■会議の経過

発言者	会議の経過／発言内容
<p>議長</p> <p>A 委員</p> <p>B 委員</p>	<p>1 開会</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 令和4年度事業報告及び収支決算（資料1・参考資料）について （事務局より資料説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日お越しいただいている委員の中には公共交通の運行・運営に関わられている方もおられるため、はっぴーバスについては NPO 法人原始人の会と加西親栄自動車それぞれの委員から昨年度のハッピーバスの状況についてお聞きしたい。 ・昨年度よりハッピーバスの乗車人員を増やす目的で、西在田小学校の生徒と一緒に検討を進めており、停留所に椅子を置いたらどうかと意見が出たことから、3月に6年生に丸太椅子を制作してもらった。制作から3か月弱経った現在、はっぴーバスのドライバーに利用客の多い時間を聞き、そのバスの運行時間にバスの停留所を自分の車で見て周ると、バスを待つお年寄りが制作した椅子に座ってバスを待っていた。声をかけて椅子の具合を確認すると、「大変具合が良い。停留所で待っている間立ちっぱなしになっていたが、たとえ1分、2分でも座る所がある方が良い。もっと沢山作って欲しい」という要望をいただくくらい好評であった。子供たちからも、このような意見を是非もらいたいという要望がある。また、学校側からは、バスの利用者に意見を聞くことでさらにアピールできれば良いのでは、といった意見もあった。また、つい先日には、泉小学校の5年生がはっぴーバスに乗って西在田小学校に移動して合同で授業を行うためには、はっぴーバスをどう使えば良いのかといった問合せがあり、学校側に利用方法を説明したところ、喜んで帰られたことがあった。泉小学校から西在田小学校に行くためのはっぴーバスの利用は今回が初めてになるが、はっぴーバスが利用できるなら、これから先も利用したいと学校側からも意見があった。昨日も西在田小学校の2年生担任の先生が、社会科の授業ではっぴーバスを往復利用したいと申し出があった。このように子供や大人でもはっぴーバスの使い勝手の良さを知ってもらい、乗車人数が少しでも増えれば良いと思っている。今年度も停留所への丸太椅子の設置を考えており、今後椅子が増えることを楽しみにしている。 ・はっぴーバスは、NPO 法人原始人の会と加西親栄自動車が行き・運営しており、昨年度は双方がはっぴーバスにできるだけ多くの人に乘ってもらいたいという

	<p>意味合いで、サービス向上に努めていたが、バスを待っているがバスが来ないといった内容の連絡が時々事務所にあった。そういった時は私の方で自動車を利用者を目的地へ送り、お客様に迷惑をかけないようにフォローしていた。先ほど、A 委員から話があったが、小学校での利用の場合、1 台のはっぴーバスに全員が乗車できないという状況が発生した場合は増便の要請が必要となり、その場合は予備車を用意するため、運転手を確保しなければならないが、他に運転手がない場合は前述のとおり私が運転して対応している。泉小学校から西在田小学校の場合は、朝に泉小学校から西在田小学校へ往路利用があり、昼も復路ではっぴーバスを利用する予定の中で、予備車を往復増便することで生徒 24 名と担任の先生の乗車であっても朝の便は問題なかったが、昼の便で予備車が 8 分程遅れ、学校の生徒、泉小学校にも迷惑をかけた。遅れたことは問題ではあるが遅れた理由として、当日事務所には誰もいなく私一人で電話対応をしており、運悪く事務所を出る直前に電話が掛かってきてしまい、その対応で 8 分程遅れてしまった。今後は、はっぴーバスの運行を優先して、緊急の場合を除き、電話に対しては後程掛け直すといった対応をしながら余裕を持って取り組んでいきたいと考えている。</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> 問題があればすぐに情報を共有するのは大事なことである。特に、人を相手に移動を支える交通事業者の方々におかれては、様々なトラブルがあると思う。そのトラブルを表に出すことにより皆で対応策を考えていくべきである。先ほど、待っているバスが来なくて予備車を出したという話があったが、今後の対応策をお聞きしたい。
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> 運転手は停留所の場所や時間を確認しながら運行しているが、バスを待つ人が暑さのため日陰に移動するなどによって待っている人が見えない場合がある。他にも、早く家を出てまだ時間があるからということで、一度家の方に帰ってしまったりする人もいる。運転手にはできるだけ周囲確認をしながら運行するように伝えてはいるが、年に 2、3 回程度、だいたい同じ人でそういったことが発生している。利用者にも声掛けをして、運転手にも注意を促しているので、今後は気を付けていきたいと思う。加えて、もし見過ごした場合は予備車等でフォローをしていく。
議長	<ul style="list-style-type: none"> このような状況の中で、今回子供たちが制作した椅子の設置は、バスを待つ人がよく分かるようになると思われる。利用者の積み残しや見過ごしは、バス事業者の信頼性を無くすことになりかねないため、今後も引き続きフォローをしていただきつつ、トラブルを減らしながら地域の皆様にとけ込むように活動していただけるとありがたい。

<p>議長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者である神姫バスからも話を伺いたい。 ・B委員の話に関して我々が取り組んでいる対応策としては、事故が多い場所、注意が必要な場所をヒヤリハット箇所としてそれらをまとめた地図を作り、乗務員が見える場所に掲示するといったことをしている。これにより、乗務員が気を付けながら運行することができる。この地図を継続的に更新することで安全運行でき、事故も削減できると思っている。はっぴーバスとしても、このような地図を作成してはどうか。話は替わって、神姫バスのねっぴ〜号について3点話をさせていただく。1点目は、加西市役所の正面口の方にベンチを設置していただいた効果もあり、市役所正面口停留所の利用者が昨年4月と比べると約5割増加している。このため、従前の市役所前停留所は若干利用者が減少しているものの、市役所前と市役所正面口停留所の合計利用者を見ても約3割増加しており、全体的に良い効果が現れている。2点目は、フラワーセンター線とsoraかさい線の利用者について、フラワーセンター線は元々利用者が少ないこともあり前年比約270%増だが、まだまだ利用者の伸びしろがあると思っている。また、soraかさい線についても前年比約150%増であり、これからも育てていきたいと思っている。3点目は、停留所の新設に関して、加西警察署より警察署の近くに停留所を設置できないかといった提案があった。また、近隣にも商業施設がオープンしているため、商業施設の敷地内を通り抜ける道路上であれば問題ないのではと模索しているところである。停留所は来年度の設置に向けて考えていきたいと思っている。その他、停留所間の距離が長い場所についても、新設に向けて調整していきたいと考えている。
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを地図にする話は、以前この協議会の中でも議論になったことがあったが、実際にヒヤリハット地図作成に取り組んでいただいて大変ありがたい。
<p>議長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宇仁ふれあいバスからも話を伺いたい。 ・宇仁ふれあいバスは先ほど報告にもあったとおり、利用者が1,000人を超えて、令和3年度と比べてやや増えてきたといった状況にある。利用者増加のために75歳以上の高齢者や小学校に無料回数券を合計700枚配布したが、現時点で90枚程度しか利用されていない。あまり地域の利用者を取り込めていない状況ではあるが、何とか増加してきたと思っている。ただ、以前はフィリピン人等外国の方にはけっこう乗っていただいていたが、昨今のコロナ禍の影響により母国に帰ったまま戻ってきていない状況ではあったが、その中で1,000人を超えてい

<p>議長 委員 議長</p>	<p>るため、これら外国の方が日本に戻ってくれば、あと 100 人程度は利用者の増加が見込める状況ではある。外国の方が日本に戻ってきている影響か、今年度は好調な出だしとなっている。また、先ほどはっぴーバスのトラブルの話があったが、昨年度に発生した宇仁ふれあいバスの失敗をお伝えしたい。宇仁ふれあいバスは普段運行している車両とは別に予備車を用意しているが、初めてこの予備車を運行した時点では、自家用有償旅客運送事業の表示はしていたが、通常車両とは異なり白い車であったためか、加東市にあるぽかぽの入り口の椅子に座って待っていた利用者が気付かずに積み残しをしたことがあった。新調した予備車の 1 回目の運行でこのような積み残しが発生したため、予備車を走らせる際は宇仁ふれあいバスであることが分かるようにマグネットシートを貼り、問題が発生しないような対策を行っている。はっぴーバスが椅子の設置が好評ということであるが、宇仁ふれあいバスは椅子も何もない所で待っている状況があり、今年度は運行費用が余れば小さな椅子でも設置できたらと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィリピン人が多い理由としては、日本に働きに来ているということか。 ・日本に配偶者がいる方が、3 人くらいいる。 ・結婚しているなら、また日本に戻ってくるかもしれない。
<p>議長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日吉地区乗り合いタクシーからも話を伺いたい。 ・私たちは昨年 3 月末に、日吉地区乗り合いタクシーを立ち上げ、1 年が経過した。当初は、月 30 人程度の利用しかなく、周知が全く進んでいなかったことが原因であった。このため皆様に周知いただくため、利用者がいない日は空車で運行を行うことで存在を知ってもらう取組を行った。その効果もあり 7 月頃から年末にかけて利用者が月 80 人程度まで増加した。周知を拡大し、住民に親しみをもってもらうために、車体にラッピングを施し、「日吉」の名の由来となっている日吉神社、日吉地区の小学校、鎌倉山など、それらを左右のドアとバックドアに貼り付けている。さらに、昨年末にアンケート調査を行っており、どのような取組を行えば利用が増えるかといった項目で、土日も運行して欲しいという意見がいくつかあった。この中で日吉地区乗り合いタクシーはドライバーが 9 名、車両 2 台で運営しており、土日の対応が可能であるため、この旨を運転手にも協力を要請して了承をいただいている。土日は完全予約制になるが、予約のある時間帯だけ走らせるということで利用者増を図っていきたい。
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度の事業報告、収支決算について協議が整ったことで承認いただけるか。

全員	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なし
	<p>(2) 令和5年度事業計画及び収支予算(案)(資料2)について (事務局より資料説明)</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・説明の中で予備車確保の話があったが、その予備車を運転する人の安全教育、運行管理、健康診断などは、旅客の輸送にあたっては必須であるが、実施状況をお聞きしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーに関して、普通二種免許を持っていない人は随時大臣認定講習を受講していただいている。この大臣認定講習も初回に受講された以降の更新が無い場合、1回受講すれば資格が継続する状況となっている。旅客運送にあたっての知識を更新いただく必要もあると認識しているため、今年度から加西市独自で更新講習に係る予算を確保している。また、健康管理等に関しては、市が行っているまちぐるみ健診などの健康診断の受診と認知症検査を実施する予定としている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前日の飲酒量点検、安全確認は適切にできているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒量点検などは運行管理者によって適切に実施している。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・現在でも十分行っていると思われるが、再度新たな気持ちで取り組んでいただければありがたい。
専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の挨拶の際に会長より「立派な計画書を作成するのが目的ではなく、計画策定後のこれからが始まりである」といった旨の話をいただいた。その中で計画書のP63を見ると、計画期間の5年間で実施すべき施策や事業の一覧表があるが、この一覧表と資料2の令和5年度の事業計画との対応が分かりづらい。可能であれば、この5年間で事業を推進していく中で、それぞれの事業をいつ実施するのかという対応付けができれば良いと考えており、さらには、対応付けができればチェックシートの利用もできると思う。このため、この事業は何年度に実施するかを整理を行い、5年後には全てチェックが入っているという形が理想ではないかと考えている。また、思うように進まなかった事業を次年度に再度実施するのかについては、計画書の最後にPDCAサイクルがあるため、具体的に進める一つの目安になる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた意見を踏まえて、対応表を整理したいと考えており、後日改めて皆様に送付させていただこうと考えている。
専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・対応表の整理は今後行うということであるが、会長からも計画はバックキャスト

	<p>ディングで実施しなければならない、という話を協議会が始まる前にしていた。地域公共交通計画で挙げている事業が5年後に全部でき上がっていないと計画を実施したということにはならないことを前提にすると、4年後にはどこまで事業が完了していかなくてはならない、3年後にはどこまで事業が完了していかなくてはならないといった様に、計画を将来から引き戻して、まずは今年度にどこまで完了していなければいけないのかという検討があった上で初めて5年後に繋がる。今回策定した地域公共交通計画はあくまで基本計画であって、その基本計画を進めるためには本来であれば対応する実施計画を作らなければいけない。この実施計画では、どの順序で事業を進めるのか、事業はいつ実施するのか、誰が実施するのかといったことを示す必要があるため、例えば毎年の協議会の年度始めか年度末などで実施計画を示した上で、これを基に次年度の事業計画を作成する必要がある。また、「①地域主体型交通の導入及び維持改善」は重点計画であるため、早急に実施すべきということが明確に読み取れるが、「②タクシー事業等との連携による移動手段の確保」は主要事業で優先して実施するということは分かるものの、いつ実施するのかは分かりづらい。最終年度になっても、主要事業を実施していないとなれば、後々大変になるため、実施計画を作成していくべきであると考えている。この実施計画ができていれば予算要求にも反映しやすいと思うので、これを踏まえてPDCAを回していけば良いのではないかと。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた意見を踏まえて内容を検討し、見える化できるように努めたい。次年度以降の計画を考える際には、皆様より意見をいただければと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・行政は予算の申請や国との予算のやり取りの軸など、様々な時間軸があるため、これらを整理して検討を進めていく。 ・計画の内容と事業の内容が合致していれば、専門委員の提案方法でできると思う。この対応表を年度ごとに積み上げれば、次第にゴールが近づいていくことになる。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画の中でも推進していくことが謳われている地域主体型交通に関して、「地域主体型交通導入の手引き」も約5年前に作成しているが、この手引きは非常に良いものであるため、他市町で地域主体型交通導入を検討する際に、この手引きを紹介しており、実際に地域主体型交通を導入した市町が全国にいくつかある。地域主体型交通導入後において、実際に運営する際には色々なトラブルが発生すると思うが、そのトラブルを解決していく際に参考とするものが、今年度作成予定の「地域主体型交通運営の手引き」となる。この手引きにつ

	<p>いても良いものができれば、加西市だけでなく全国にも発信ができると思う。次に、バスの運行案内をする際に、神姫バスは GTFSS フォーマットでバスの情報案内ができるが、コミュニティバスに関しても、できればネットで調べられる標準的なフォーマットを取り入れることができればと思っている。ただ、金銭的な問題もあるため、全てを一気に実施するのではなく順に実施しても良いと思う。最後に、予算の伴わない協議案件に関して『重点事業』の推進に係る相談・意見を実行するにあたり、企業との連携はとても大事なことだと思う。コミュニティバスの利用者数を見ると、近年とこなべ工業団地バス停の利用が非常に増えている。増加した理由としては、工場の規模を大きくしたこともあると思うが、それ以上に外国人の従業員や、若者で車や運転免許証を持たない人も増えているため、このような方々がバスで工場に通うと、雇用を生み出すことになり、企業にとっては人材確保にも繋がると思われる。このような話をできるだけ様々な企業と協議することで、バスの利用が増加するだけではなく、安定した住みやすいまちとなるきっかけづくりになるため、企業との連携は非常に重要なことだと思う。是非、皆様でもそういった力添えをいただければ非常にありがたい。</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の事業計画及び収支予算（案）について、協議が整ったことで承認いただけるか。
全員	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なし
	<p>(3) 地域公共交通計画認定申請（資料3・補足資料）について （事務局より資料説明）</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の申請書類から、今後様式の変更の予定があるということは聞いているが、内容が大きく変わることは無いので、申請書の記載内容の変更があれば事務局に一任という形でお願いしたい。あと、フィーダー補助に関しては、各市町でも路線維持のためにこの補助金を活用しており、要綱に定められた本来市町が補助を受けたい金額がある中で、申請が多数に及んでいるため、各市町が申請された金額に達していない状況も発生するが、これからも継続して活用いただきたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・私からの意見として、国からのフィーダー補助は実際のところ想定する金額の8割から6割程度の補助額となっており、満額で受けられることはなかなかない。このため大元の補助額を拡大することが必要であり、各市町や都道府県が国に対して公共交通事業の支援について強く要望しないといけない。公共交通を幹と枝と葉に例えれば、それぞれが上手く機能しなければ、葉の部分まで上手く

<p>議長 全員</p>	<p>水が回らず枯れてしまう。本日お越しの皆様も是非関心を持っていただくとありがたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画認定申請について、協議が整ったことで承認いただけるか。 ・異議なし
<p>委員</p>	<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転免許返納者に対する補助的な施策としては、タクシーチケットの配布といった金額的なものが考えられるが、運転免許返納者に対して返納後の1年間だけサポートするのではなく、継続的な補助を続けていただきたい。また、5月31日から東播地区全体でタクシー料金が上がり、これまで初乗り乗車が660円だったものが700円になる。この辺りは予算的に影響するかもしれないが、可能であれば補助額を上げていただければと思う。
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費や燃料費の高騰など、様々な形で日常生活に影響していくが、皆様と様々な形で支え合う方向で考えていけたらと思う。
<p>事務局</p>	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2点報告させていただきたい。1点目は、宇仁地区で運行している宇仁ふれあいバスについて、現在加東市の滝野図書館まで乗り入れをしており、図書館の北側の地域交流センターに停留所を設置している。ただ、この地域交流センターが今年の11月から全館の空調工事、来年度には外壁の塗装工事をするため、足場設置や資材の設置で停留所を活用することが難しい状況になる。これを受けて加東市と協議を行い、図書館の南側にある来場者用駐車場の一角に停留所を設置する予定で現在調整を行っている。こちらに関しては軽微な変更ということで、協議を整える必要がなく、今回このような形で報告させていただいた。2点目は、日吉地区で運行している日吉地区乗り合いタクシーについて、委員からも報告あったが、利用者の需要拡大や裾野を広げる活動という意味で、土日の運行を試験的に行う予定である。土日運行を2か月実施して、需要をどの程度掘り起こせたか、需要がどの程度あったのかを検討した上で、来年度以降の本格運行を検討する予定である。
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は停留所の位置変更などに関しては、場所の共有のために資料を作成するよう心掛けていただきたい。また、日吉地区乗り合いタクシーの土日の運行についても、運行期間などの概要資料を作成して共有いただきたい。

事務局	<p>・ 次回の第 52 回協議会は、12 月から 1 月頃開催を予定している。</p> <p>5 閉会</p>
-----	---